

第7回ヒュームフード推奨基準作成小委員会議事録(案)

1. 日時 平成25(2013)年09月27日(金)15:00-17:00
2. 場所 東京大学本郷キャンパス工学部5号館3階談話室
3. 出席者 10名
春原、大島、北村、堀江、齋藤、結城、柳田、大泉、村田、主原(記)
4. 資料
 - 別紙1 議事次第
 - 別紙2 ヒュームフード推奨基準策定小委員会・今後の進め方について (資料1)
 - 別紙3 ワークトップ耐薬品性テスト (原案) (資料2)
 - 別紙4 ヒュームフード「共通表示ラベル」サンプル (資料3)
 - 別紙5 ヒュームフードを正しく使うために (資料4)
 - 別紙6 ヒュームフードの正しい使い方ガイド (資料5)
4. 議事
 - (1) 前回委員会の確認と今後の取組みについて
 - ・ 春原理事より、前回の委員会での進捗について報告があった。
 - ・ また、春原理事と北村理事より今後の進め方(資料1)について提案があり、大島理事長に説明の上で「会員企業向けサービス」の具体化について検討を進めることになった。
 - ・ また、春原理事より高校生自主活動支援プロジェクトへの協力依頼の話がされた。
 - (2) 具体的取組み事項の検討
 - 1) 耐薬性能評価基準
春原理事より、ワークトップ耐薬品性テスト (原案) (資料2) が示され、適切な評価指標や評価方法について議論を行った。
評価方法については2案あるが、各社で実際に共通の素材 (SUS304 BA材 #300) で実際に評価試験を行うこととなった。
 - 2) 共通表示ラベル
北村副理事長より、本体貼付用「表示ラベル」統一のために (資料5) を示して、他の実験室での例をふまえて具体的な表示を作成することとした。
また、ヒュームフードのメーカー各社より実際に貼り付けている表示のサンプル提出を行うこととなった。
 - 3) 正しい使い方
結城委員および春原理事長より、ヒュームフードを正しく使うために (資料4) と、それを要約したヒュームフードの正しい使い方ガイド (資料5) を示して、「実験前」「実験中」「実験後」「定期的に」という場合分けをして議論を行った。
正しく使うために：については、使い方ガイドを同じ4部構成とし、「～しないでください」から「～すべきです。(しないとこうなります)」に表現変更して再編集することとした。

正しい使い方ガイド：については、会員大学に協力をお願いして意見を徴収することとした。

(3) 取組スケジュール

春原理事より、12月を目処に仕上げることを目指し、次回の小委員会の日程を12月5日（木）とする報告があった。

(4) その他報告事項

大島理事長より11月25、26日に韓国仁川で第二回環境安全衛生教育シンポジウムが開催されることとなり、ポスター発表の応募を募集するお知らせがあった。

以上